

群馬県立文書館

文書館だより

TEI 027(221)2346

URL <http://www.archives.pref.gunma.jp>

第53号

平成26年9月



明治二〇〇二年五月五日
伊太利人
コントテラトール夫婦
バロンカシワニヤ
メヤツサ
ヒヤウテイ
アラト
日本人
中山
サウキ
此外國の人の御しを受けて
上州へ参むき。此若孫公
の「後人」を「後」に承りし
方の「方々」を「方々」に承りし
方の「方々」を「方々」に承りし
方の「方々」を「方々」に承りし



[錦絵] (伊太利人前橋城下誘引到着の図) * 彩色、縦22.7cm×横162.0cm (遠藤昌孝家文書 P0702 No3)

この錦絵は、明治二年（一八六九）五月五日（松井隆一家文書では四日）、イタリア公使「コントテラトール」（ヴィクトリオ・サリエール・デ・ラ・トゥール）夫妻一行八名（イタリア蚕種商人ら五名、日本人一名含む）が、東京から上州へ蚕糸業視察のため訪れた際の駒形・前橋間の様子を描いたものです。総人数は東京からの護送兵一六名、前橋藩の護衛衆四〇名など計八〇余名でした。一行はここまで、平塚河岸の田部井家や島村の田島弥平家を視察し、駒形郊外で前橋藩士遠藤鏘平らに出迎えられました。絵図右端の小屋内部の「蚕棚」や遠景の「畑廻り桑」などから、蚕糸業が盛んであった当時の上州の農村風景がうかがえます。

一行は午後前橋に到着。その日は八幡宮を参拝し、本町の本陣や中沢屋善兵衛方などに宿泊しました。翌日、広瀬河岸の中村屋正造方で糸挽き作業を視察し、午後一時頃に前橋を出発しました。沿道は、多数の見物人が群がったということです。その後、渋川・伊香保・高崎・藤岡などを訪れました。

翌年七月、前橋藩の速水堅曹らは、イタリア製器械を導入した日本初の藩営洋式器械製糸所を設立しました。この錦絵は、速水の実姉の梅が嫁いだ遠藤家に伝存されたものです。

国際アーカイブズの日

国際アーカイブズの日記念行事

●「国際アーカイブズの日」とは：

昭和二十三（一九四八）年六月九日、文書や記録の保存や利用について、世界中の公文書館の相互の連携を強め、その発展に貢献することを目的として、国際公文書館会議（ICA）が発足しました。

この発足の日を記念して、平成二十（二〇〇八）年、ICAは六月九日を「国際アーカイブズの日」と定めました。当館では、より多くの皆さんに文書館の存在や意義を知っていただこうと、平成二十六年六月十四日（土）、記念行事を開催しました。内容は、映像資料の上映会、施設見学会、体験コーナーです。

当日は約二〇名の方にご参加いただきました。

●上映会

「富岡製糸場と絹産業遺産群」

（平成二〇年世界遺産推進室広報ビデオ）
世界遺産に登録された富岡製糸場をはじめとする県内の絹産業遺産群を紹介するビデオです。

「ニュース映像でつづる戦後ぐんまの歩み」

（平成二年県広報ビデオ）

戦災による焼け野原、たび重なる台風被害を乗り越え、産業復興、県内各地の有料道路の完成、上越新幹線の開通など、戦後ぐんまの歩みをたどるビデオです。

「全て興味深く、懐かしかった」等の感想をいただきました。

●見学会

館内の書庫や閲覧室をご案内しました。
「普段、立ち入れない所を見ることができて勉強になりました」等の感想をいただきました。

●体験コーナー

①和綴じでメモ帳作り

（製本技術「和綴じ」の体験）

②昔のすぐろく遊び

（当館で所蔵する明治・大正期のすぐろく遊び）

参加者のみなさんに楽しんでいただくことができました。



25年度ロビー展示Ⅱ

戦国時代の古文書

↳信長・秀吉・足利義昭

平成二六年一月一四日（火）から五月一日（日）まで、標記のロビー展示を開催しました。今回は、当館収蔵の戦国期〜江戸時代初期の古文書の中から「木健次家文書」五点と「浦野安孫家文書」四点を展示しました。

前橋藩主松平家臣の家に伝存した「八木家文書」からは、織田信長朱印状、同黒印状、豊臣秀吉朱印状、太閤様御判（羽柴秀吉花押）、花押集（巻紙に戦国武将・近世大名等一八〇余名の花押の切り抜きが貼付された文書）を展示しました。また、吾妻郡林村の地方文書と修験・神職に関する文書を伝存した「浦野家文書」からは、足利義昭御内書、北条氏邦判物、滝川一益判物、聖護院道澄書状を展示しました。

いずれも県内では珍しい貴重な史料ばかりであり、新聞紙上でも大きく取り上げられ、期間中一、〇二八名の方に御覧いただきました。今回展示の九点の文書は、当館二階閲覧室で手続きをすれば原本を引き続き御覧いただけます。

26年度ロビー展示Ⅰ

近世上州の蚕糸・織物

（江戸時代〜明治初期）

現在、当館では本年七月一九日（土）から同一一月二九日（土）までの予定で、標記ロビー展示を開催しています。今回は「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録を記念し、当館収蔵史料の中から、江戸時代〜明治初期にかけての上州の蚕糸・絹織物に関する史料を展示しています。近世を通じての蚕糸・絹織物業の発展により、富岡製糸場・高山社跡・田島弥平旧宅などの構成資産をはじめとする群馬近代絹産業遺産群が成立していたことを収蔵史料を基に解説しています。

内容は、①養蚕・蚕書、②絹糸貫目改所、蛹売買、③絹織物・太織、④横浜開港と生糸・蚕種紙輸出、⑤世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の時代へ、⑥養蚕錦絵、となっております。特に、明治二年イタリア公使が前橋を訪れた際の（錦絵）（伊太利人前橋城下誘引到着の図、本「だより」表紙）、大型古文書の「掟本（桐生織屋仲間）」、彩色ページもある田島弥平著『養蚕新論』などが見どころです。

古文書入門・長期古文書講座 ・ 出前なんでも講座

● 古文書入門講座

六月七日（土）から七月五日（土）まで毎週土曜日、計五回、当館職員を講師として古文書入門講座を行いました。古文書を初めて読んでみようとする方のための講座で、受講者の方から、古文書の解読のみならず背景の歴史まで学べるとご好評をいただいております。今年も定員を大幅に超える申し込みをいただき、修了者数は五十八名でした。

● 長期古文書講座

九月六日（土）から十一月二十九日（土）まで毎週土曜日、計十二回、古文書解読の経験のある方を対象にした長期講座で、今年入門講座修了者を含め六十四人が受講中です。十二回のうち八回は当館職員、四回は丑木幸男先生（近現代・国文学研究資料館名誉教授）、久保田順一先生（中世・元『ぐんま史料研究』編集委員）の講座です。

● 出前なんでも講座

昨年から始めた講座で、当館職員が地域の皆様の所に伺います。今年には既に四件の講座を行い、ご好評をいただいております。地域の公民館活動や学習団体の研修などにお気軽に「ご利用ください」。

職場体験・インターシシップ

● 職場体験

九月二日（火）から四日（木）までの三日間、前橋市立木瀬中学校の二年生六名が文書館で職場体験学習を行いました。一日目は利用券の作製、図書ラベル貼り、文書の検索・出納、二日目は『法令全書』のラベル貼り、書庫への配架、三日目は古文書のラベル貼り、和綴じの手帳作りを体験しました。

ラベル貼りなど多くは細かい作業でしたが、仕事の内容をよく理解し、意欲的に取り組んでいました。

生徒からは「本の大切さや仕事の大変さなどがわかった。」「本や資料と多く関わり、楽しい反面、資料を責任を持って保管しなければならぬ難しい仕事だと思った。」などの感想が寄せられました。



● インターシシップ

群馬県で実施するインターシシップ（学生実習生受入制度）の大学生等七名が九月二日（火）に来館し、実習を行いました。当館の概要説明を受けた後、二つのグループに分かれて、公文書の状態調査、古文書のラベル貼り・マイクロ複製本の点検を交互に体験しました。

実習の最後に「ロビー展示Ⅰ 近世上州の蚕糸・織物（江戸時代～明治初期）」について、館職員の解説により、観覧しました。

古文書

新たに収集した

※ 文書群名の住所表記は文書受入当時のもの

◎ 伊勢崎市連取町・森村正博家文書

明治・大正期に、宗教家・実業家・政治家として活躍した森村堯太に関する書簡・文書を中心とした約一万点の文書群。

堯太は、前橋英和女学校（共愛学園の前身）を設立、共愛社社長に就任したことから共愛女学校・キリスト教会関係者である深澤利重・柏木義円・住谷天来ら差出の書簡類がある。また、伊勢崎銀行・上毛貯蓄銀行等を設立したことから、銀行関係の書簡・文書もある。さらに、村会議員・県議会議員（廃娼派県議）関係の書簡も貴重な史料である。（寄託）

古文書

新たに閲覧できる

◎ 勢多郡北橋村箱田・根井幸江家文書

勢多郡中箱田村の名主をつとめ、幕末期に前橋藩から郷兵頭取・直支配地廻帶刀・大惣代等を命じられた同家の文書群。

① 箱田・中箱田村名主関係文書、② 木曾家関係文書、③ 天下の動静記述文書、④ 明治初期戸長・第三大区長関係文書、⑤ 神道関係文書、など。

第一次公開 一一八五点（P九四〇九）

◎ 前橋市箱田町・栗間良輔家文書

旧前橋藩士の同家に伝存した文書群。

① 同家伝来文書、② 前橋藩士栗間家関係文書に大別される。①は家老下川家宛書状、刀剣関係文書、徳川綱吉黒印状など、②は親族・剣術・武器に関する書状・書付、前橋藩関係文書などである。

五〇二点（P〇〇一〇）

◎ 前橋市文京町・神林駒吉家文書

故陸軍兵長神林兼四郎の追悼文集。兼四郎氏は、昭和十七年（一九四二）八月、中国河北省景県での中国共産軍との戦闘で戦死。同部隊の三一名の兵士による追悼文集。中国戦線での日本軍の状況や戦友の死に対する兵士たちの思いを知ることが出来る貴重な史料。

一点（P〇〇八一）

◎前橋市野中町・石井一家文書

同家に伝存した衆議院議員候補者の清水留三郎・五十嵐吉蔵の挨拶状（共に葉書）、同候補者青木精一の推薦状（封書）である。いずれも昭和一七年五月実施の「翼賛選挙」に関わる史料である。

三点（P〇〇九〇八）

◎群馬県・田代勤家文書

明治四三年九月二〇日から約二か月間、前橋市で開催された「一府一四県連合共進会」開場案内図である。中央の会場平面図の周囲に、正門・貴賓館・参考館・奏楽館・馬匹共進館・園芸館の七枚の写真が配されている。

一点（P〇一〇〇一）

◎渋川市北橋町・木曾義久家文書

木曾義仲・戦国期の木曾義昌の子孫といわれる木曾家伝存の文書群。系図など近世以前の史料は僅かで、多くは近代以降の史料。書簡類・教員辞令・賞状・卒業証書など。一六五点（P一〇〇九）

◎沼田市屋形原町・黒岩英夫家文書

沼田藩領の利根郡屋形原村名主を務めた黒岩家に伝存した文書群。近世から現代にいたる家政史料が大半を占める。書状・書簡類が多い。差出人の多くは、利根・吾妻郡各村々や沼田・白井・前橋・桐生・大間々・横浜などの糸繭商に携わる人々。沼田藩達状も。

第五次公開 二八三一点（P八三一）

新たに収蔵した
公文書

管理受任等 平成二十五年度に管理委任、引継ぎにより県の各機関から受け入れた文書は、八九八冊でした。

（詳細は表1のとおり）

表1

平成二十五年度管理受任文書の課室別冊数

課室名	冊数	課室名	冊数	課室名	冊数
総務課	12	保健予防課	20	交通政策課	4
学事法制課	79	業務課	28	道路管理課	18
広報課	2	国保援護課	25	道路整備課	2
市町村課	4	食品安全課	5	河川課	135
危機管理室	1	環境保全課	3	都市計画課	72
消防保安課	16	廃棄物・リサイクル課	62	知事部局合計	862
国際戦略課	1	森林保全課	32	文化財保護課	36
健康福祉課	30	農村整備課	36	教育委員会合計	36
医務課	11	商政課	166	総計	898
介護高齢課	95	労働政策課	3		

収集 平成二十五年度の文書整理において県の各機関が廃棄した文書資料の中から、文書館が歴史資料として収集したものは一、九九二冊でした。

（詳細は表2のとおり。なお、管理委任解除とは、保存期間が満了し、管理委任を解除された文書から収集したものを）

（詳細は表2のとおり。なお、管理委任を解除された文書から収集したものを）

表2

平成二十五年度収集文書の部局別冊数

部局名	冊数	部局名	冊数
総務部	133	県土整備部	566
企画部	68	会計局	3
生活文化スポーツ部	36	議会事務局	19
健康福祉部	131	監査委員事務局	11
環境森林部	154	教育委員会事務局	255
農政部	106	(管理委任解除)	448
産業経済部	62	合計	1,992

（参考）

平成二十四年度の状況

・管理受任等 一、七四三冊
・収集 四、二三七冊

今後の行事予定

★開館記念日行事 11・1(土) ★

【記念講演会】

「史料から読み解く地域の歴史
〜西上州の関所と脇街道〜」

講師：岡田昭二（当館主幹専門員）

【原本史料展】一階展示室等

【展示解説会】一階展示室等

（当館職員による解説・全2回）

★展示 ★

ロビー展示Ⅰ「近世上州の蚕糸・織物」
11・29(土)まで

ロビー展示Ⅱ「近代群馬の養蚕製糸」
12・6(土)〜5月中旬

★講座 ★

ぐんま史料講座(第1回) 1・24(土)
講師：高橋敏先生

(国立歴史民俗博物館名誉教授)
ぐんま史料講座(第2回) 2・7(土)
講師：手島仁先生

(前橋市歴史文化遺産活用室長)

事前申込が必要なものもあります

詳細は文書館HPをご覧ください

発行／群馬県立文書館

http://www.archives.pref.gunma.jp

題字／岡庭征人書